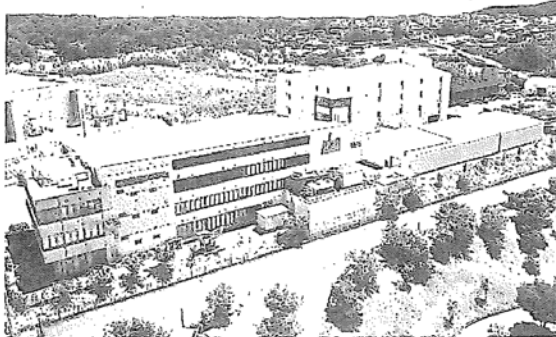


空冷式冷凍機を増産

日本熱源システム 滋賀に新工場棟

日本熱源システム（東京都新宿区、原田克彦社長、03・5579・8830）は、自然冷媒として二酸化炭素（CO₂）を用いる空冷式冷凍機を増産する。環境負荷が低いことから需要が拡大しているため、主力の滋賀工場（大津市）の敷地内に新工場棟を建設する。2021年3月に着工し、22年3月に完成する予定。これにより、年間の生産能力を現在の約90台から約250台にまで引き上げる。



新工場棟を建設する滋賀工場

新工場棟は既存の倉庫2棟を取り壊した跡地に建設する。5階建てで、延べ床面積は6

新工場棟を建設する滋賀工場を冷媒にした空冷式冷凍機「スーパーグリーン」を発売。19年には、冷凍機で冷却した不凍液を循環させて大型冷凍設備や製氷設備を冷却する機能を持たせた製品を追加した。小型・高性能で、自然冷媒なため環境負荷が低く、省エネルギー化につながることから好評で16年の発売から累計250台を出荷。需要増に生産能力が不

足しているため新工場棟の建設を決めた。来春にはマレーシアで、スーパーグリーンの海外販売第1号が稼働する予定。今後、パートナー企業などを探しながら海外販売を拡大する方針で、新工場棟の建設は海外需要に対応する狙いもある。

日刊
THE NIKKAN
工業
KOGYO SHIMBUN
新聞
11月11日 水曜日
2020年（令和2年）